

科 目 名		学 年	
人事管理論 : Personnel Management		5B	
教 員 名 中岡 伊織 : NAKAOKA Iori			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	選 択	講 義・後 期
学 修 単 位		○	
授 業 概 要 企業を取り巻く経営環境の変化や雇用形態の多様化にともない、企業とそこで働く個人の関係にも変化が見られ始めている。 この授業では、現代の日本企業が行なっている雇用の管理を中心に取り扱い、後半では企業の人材活用について取り上げていく。			
到 達 目 標		評 価 方 法	
(1)実際の企業で行われている人事管理の概要を理解することができる。 (2)人事管理が実際の働く場でどのように機能しているのかを理解することができる。 (3)人事管理を通じて組織と個人の関係にどのような関係・影響があるのかを理解することができる。		①中間、期末試験(80%)、②自学自習によるレポート(20%)によって評価する。	
学 習・教 育 目 標		(C)②	JABEE基準1(1)
		(d)-(1)	
回	項 目	内 容	
第1	人事管理論の概要	人事管理論の役割とその歴史について学ぶ	
第2	雇用の管理(1)	組織と制度	
第3	雇用の管理(2)	採用管理	
第4	雇用の管理(3)	異動・昇進	
第5	雇用の管理(4)	退職管理	
第6	雇用の管理(5)	人材育成とキャリア開発	
第7	雇用の管理(6)	評価と報酬	
第8	中間まとめ	中間のまとめを行い試験を実施する	
第9	企業の人材活用(1)	労働時間管理	
第10	企業の人材活用(2)	ワークライフバランス	
第11	企業の人材活用(3)	外部人材の活用	
第12	企業の人材活用(4)	国際人事管理	
第13	福利厚生	企業の福利厚生について学ぶ	
第14	労働組合	労働組合と労使関係について学ぶ	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容		レポートを課す。	
関連科目		基礎経営学、経営組織論Ⅰ・Ⅱ、経営管理論Ⅰ・Ⅱ	
教科書		安藤史江『コアテキスト 人的資源管理』新世社 2008年	
参考書		講義にて適宜指示する。	
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考			